

科目名	イベント・メディア業界研究 2							年度	2024
英語科目名	Event media industry research-2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	南澤 薫		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ディスクジョッキー	
【科目の目的】									
将来エンターテイメント/音楽業界で働くにあたって、必要最低限知っておくべき世界共通のポピュラー音楽を学ぶ									
【科目の概要】									
プロとして知っておくべき名曲をポピュラー音楽を中心に、歴史をたどりながらCD・ビデオ・DVDなどで学びます。またポピュラー音楽以外にクラシックから民族音楽まで、幅広いジャンルの学習を行います。									
【到達目標】									
A ソウルミュージックの歴史から様々なジャンルと業界の成り立ちを理解できる。 B 4つの世界的なダンスブームをそれぞれ理解、説明できる。 C 来日公演を実施しているアーティストに関心を持っており、流行や景気などの社会背景に敏感である。 D 時代ごとのチャートから、音楽だけではなく文化や社会情勢をイメージできる。 E エンタメ業界の様々な仕事を音楽の曲やジャンルからイメージできる。□ □ □ □									
【授業の注意点】									
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	音楽の歴史を紐解き、エンタメ業界の成り立ちと関連付けることが出来る		音楽の歴史を紐解き、エンタメ業界の成り立ちに興味を持っている		様々な音楽のジャンルがあることに興味がない				
到達目標 B	他の業界での音楽の使われ方から知識を様々な業界に活かすことにイメージを持っている		他の業界での音楽の使われ方に興味を持っている		ダンスだけでなく、ブームがあることに興味を持ってない				
到達目標 C	来日公演アーティストのジャンルや公演規模から流行や景気を読み取ろうという意欲がある。		来日公演アーティストやジャンルに対して興味を持っている		流行や景気に関心がもてない				
到達目標 D	時代ごとのチャートから、音楽だけではなく、文化や社会情勢をイメージできる		時代ごとのチャートから、音楽だけではなく、文化や社会情勢違いがあることに興味を持っている		音楽が持つ背景に興味を持ってない				
到達目標 E	エンタメ業界の様々な仕事があることをイメージできており、それらの業界に行く意欲が十分ある		エンタメ業界の様々な仕事があることをイメージできている		エンタメ業界の仕事がイメージできない				
【教科書】									
毎回レジュメ・資料を配布する。									
【参考資料】									
オフィシャルの動画コンテンツ									
【成績の評価方法・評価基準】									
＊試験により授業内容を反映し理解度を確認する。 ＊積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 ＊授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		イベント・メディア業界研究 2				年度	2024
英語表記		Event media industry research-2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ソウルミュージックの歴史 ①	ロック誕生からソウルの黎明期の変遷を知る	1	1950年以前	ロックンロールの誕生を知る	3	
			2	1950年代	サザンソウルを知る		
			3	1960年代前半	サイケソウルやファンクへの変化		
2	ソウルミュージックの歴史 ②	モータウン・サウンドとは何かを知る	1	1960年代後半	アトランティックソウルを知る	3	
			2	1970年代前半	スウィートソウル（コーラスグループ）		
			3	1970年代後半	背景となる公民権運動を知る		
3	ソウルミュージックの歴史 ③	ポストディスコヒップホップへの移行を知る	1	1980年代前半	ブギー、ブラックコンテンポラリー等	3	
			2	1980年代後半	デジファンク、ニュージャックスウィング等		
			3	1990年代	ヒップホップ R&B を知る		
4	4度の世界的ダンスブーム ①	1stブームと2ndブームを知る	1	The TWIST	Do The～現象(1960年代)とは何かを知る	3	
			2	ディスコブーム①	Saturday Night Fever 以前の特徴を知る		
			3	ディスコブーム②	Saturday Night Fever 以後の特徴を知る		
5	4度の世界的ダンスブーム ②	3rdブームと4thブームを知る	1	ユーロビート	ヒップハウス、グラウンドビート等	3	
			2	トランス	トラックメイカー、ラップ等		
			3	EDM	クラブシーン、DJ、大規模イベント等		
6	話題の新譜その周辺情報	海外アーティスト来日ラッシュ	1	アメリカから	ブルーノマーズ、モトリークルー、等	3	
			2	ヨーロッパから	コールドプレイ、デフレバード、等		
			3	その他の海外から	BTSなどに代表されるK-Popアーティスト		
7	映画音楽の世界的ヒットの歴史	世界レベルでのヒット曲と映画音楽との関連を知る	1	2010年以降	時代、国、年齢、性別を超えたヒット	3	
			2	ロック・エラ以降	誰もが知るナンバーワンソングの理由		
			3	映画音楽の今後	映画のヒットは音楽のヒットに直結		
8	日欧洋楽ヒットの歴史	本国より外国で先にブレイクしたアーティスト	1	QUEEN	イギリスよりも先に日本でブレイクした理由	3	
			2	BON JOVI	アメリカよりも先に日本でブレイクした理由		
			3	邦楽	海外で先にブレイクする邦楽は生まれるか？		
9	ロックサイドストーリー ①	メインストリーム・ロックを脇で固めるジャンル、サイドストーリー・ロック	1	1960年代	フォーク、サイケ、アート、ソフト・ロック	3	
			2	1970年代	スワンプ、パンク、バブ、ガレージ・ロック		
			3	1980年代	スタジアム（産業）ロック、ニューウエーブ		
10	クリスマスソングの歴史	クリスマスソングの定番と変遷を知る	1	スタンダード	ビングクロスビー、ジャクソン5等	3	
			2	各時代のヒット	ジョン・レノン&ヨーコ・オノ 等		
			3	毎年チャートイン	マライア・キャリー、ワム、等		
11	現状チャートの詳細解説	今年と過去を比較して振り返り、流行を知る	1	今年のチャート	該当年次ベストテンを知る	3	
			2	過去のチャート	過去10年以内のベストテンを把握		
			3	比較検討	ヒットの要因、時代背景を検証する		
12	年間チャートの歴史①	年間チャート1位ソング改めて検証してみる。	1	1960年代	Tonight from Westside Story 等「	3	
			2	1970年代	My Sharona / NACK 等		
			3	1980年代	When Doves Cry / Prince等		
13	年間チャートの歴史②	年間チャート1位ソング改めて検証してみる。	1	1990年代	Candle in the window / Elton John 等	3	
			2	2000年代	Bad Day / Daniel Powter 等		
			3	2010年代	Shape of You / Ed Sheeran 等		
14	エンターテイメントの仕事 ①	オリジナル越えのカバーから学ぶ	1	最近のヒット	音楽は時代を超えられる証明であること	3	
			2	有名なカバー	オリジナルよりもカバーの方が有名な曲		
			3	日本語のカバー	洋楽を日本語でカバーして有名なヤングマン		
15	エンターテイメントの仕事 ②	音楽業界の経済的な成り立ち	1	レコード会社	今後どのようにビジネスを成立させるか？	3	
			2	音楽出版社	今後どのように権利を成立させるか？		
			3	イベンター	単独公演とフェス乱立における招聘		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等